

修学支援制度申請書の作成にあたっての注意事項

イ 大学等における修学の支援に関する法律による修学支援は、授業料等減免と給付型奨学金により行うこととしております。このため、あらかじめ機構に給付型奨学金の申込みを行ってください。なお、給付型奨学金と授業料等減免の認定の要件は同一であるため、給付奨学金に申し込んだ結果、認定を受けることができなかった（給付奨学生として採用されなかった）場合は、同じ期間、授業料等減免の支援についても受けることはできません。

ロ 「機構の給付型奨学金に関する情報」の欄について、予約採用における採用候補者は、採用候補者決定通知の受付番号を記入するとともに、採用候補者決定通知のコピーを必ず添付してください。

ハ 過去に、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の支援を受けたことがある場合には、当該期間の月数を申告してください。

ニ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減の認定及び本学が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。

ホ 申請書を記入の際は、黒のボールペン（消せるボールペンは不可）を使用してください。訂正する場合は修正液等を使わず、二重線を引き、訂正してください。（訂正印は不要です。）

修学支援制度申請書の書き方

A 様式 1

大学等における修学の支援に関する法律による
授業料等減免の対象者の認定に関する申請書

2025 年 9 月 1 日

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京 学校長

私は、貴学（貴校）に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者としての認定を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

◆この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、在学する学校から減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。

◆授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じて、専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京が機構の保有する私の給付型奨学金に関する情報の送付を受けること、及び機構が専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京の保有する私の授業料等減免に関する情報の送付を受けることに同意します。

◆現在、他の学校において、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免を受けておらず、当該授業料等減免の対象者の認定を受けることには同意します。

※以下のすべての項目を申請者または保護者が記入してください。

フリガナ	タカダ タロウ	入学年月	2026 年 4 月入学
氏名	高田 太郎		
生年月日	(西暦) 2007 年 4 月 1 日生 (18 歳)		
現住所	〒 169 - 0075 東京 都 新宿 市(区) 高田馬場 4-5-8		
所属学科	ミュージックアーティスト 科	学籍番号	26MI0099
学年	1	昼間・夜間・通信の別	<input checked="" type="checkbox"/> 昼 (昼夜開講を含む)
過去に本制度の入学金減免を受けたことがありますか。	ある ・ <input checked="" type="checkbox"/> ない		
過去に本制度の支援を受けた学校名、期間(年)	学校名	期間/月数	年 月 ~ 年 月
機構の給付型奨学金に関する情報 (いずれかの□に✓印を付け、右欄に該当する番号を記載してください。) ※予約採用の採用候補者は、機構からの通知のコピーを添付すること			
<input checked="" type="checkbox"/> 予約採用の申込を行った者 【給付型奨学金の申込の受付番号 (採用候補者となっていれば登録番号、 給付奨学生 給付奨学生番号)】			
<input type="checkbox"/> 在学(在学)者 【給付型奨学金 (給付奨学生となっていれば奨学生番号)】			

記入日の記入を忘れずに

奨学生を申し込んだ際に記入した氏名と同内容を記入

現住所を記入

合格通知記載の「26」から始まる英数字

採用届記載の●桁の番号をそのまま記入